

報道機関 各位

資料提供 平成 28 年 11 月 15 日
生活環境部生活衛生課食品安全・安心班
担当者 主 幹 齋藤吉之
主 幹 高橋俊嗣
TEL 018-860-1593
美の国あきたネット掲載 有 無

動物園における鳥インフルエンザ簡易検査結果と 今後の対応について

11月15日、秋田市大森山動物園で飼育され、死亡したコクチョウ1羽についてA型鳥インフルエンザウイルスの簡易検査を同動物園で実施したところ、陽性反応が出ましたので、お知らせします。

なお、現時点では、簡易検査により陽性が確認されたものであり、病性は未確定、高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されたわけではありません。確定検査の結果、陰性となることもあります。

1 経緯

- ・大森山動物園で飼育下のコクチョウ1体の死亡を確認（11月15日）。
- ・同動物園において簡易検査を実施したところ、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が出たと報告があった。
- ・環境省が、確認地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定。
- ・北海道大学において確定検査を実施予定。（1週間程度）

2 対応

- ・動物園においては、園内の他の鳥類への感染防止対策を実施。
- ・県では、確認地点の周辺10km圏内の野鳥の監視を強化。
- ・家畜保健衛生所を通じて、県内の養鶏農家等に情報提供し注意喚起するとともに、異常の有無を確認。
- ・県では「鳥インフルエンザの発生に伴う連絡会議」を、20:00から災害対策本部室（県庁第二庁舎4階）において開催予定。